

令和2年度 応神中学校 総括評価表

| 重点課題 | | 重点目標 | | 自己評価 | | 学校関係者評価 | 次年度への課題と今後の改善方策 | | | |
|---|--|---|--|--|------|---|-----------------|---|--|---|
| 重点課題 | | 重点目標 | | 評価指数と活動計画 | | 評価 | | | | |
| | | | | 評価指数 | 活動計画 | 評価指数の達成度 | 総合評定 | 学校関係者の意見 | 今後の改善方策 | |
| <p>郷土を愛し、心豊かに、未来をたくましく生き抜く生徒の育成</p> <p>①生活力の向上（あいさつ・歌声・清掃）</p> <p>②学力の向上（基礎・基本の徹底，授業の充実）</p> <p>③人間力の向上（道徳教育，人権教育，体験活動の充実）</p> <p>④業務の効率化・ワークライフバランスの推進</p> | | <p>（全校レベル）</p> <p>①学級経営の充実</p> <p>②確かな学力の定着</p> <p>③心の教育の推進と充実</p> <p>④特別支援教育の推進</p> <p>⑤健やかな体の育成</p> <p>⑥人間形成を図る部活経営の推進</p> <p>⑦自尊心を高める教育活動の推進</p> <p>⑧生徒指導の徹底と教育相談の充実</p> <p>⑨教職員の資質向上</p> <p>⑩保護者・地域との連携</p> | | <p>①生徒理解に努め，学習指導要領に基づく，教育課程を実施し，学力の定着・向上を図り，定期テストの平均正答率を63%以上とする。</p> <p>②実態や課題に応じて，生徒へのきめ細かな指導や支援を行い，「楽しい学校生活を送っている」と答える生徒を83%以上とする。</p> <p>③学校と保護者・地域との連携，協力，信頼関係を築き，自主的・創造的に行動できる生徒を育てて行く。「目標をもって学校生活を過ごしている」と答える生徒を73%以上とする。</p> | | <p>①定期テストの平均正答率を63%以上とすることができた。87%の生徒が「真剣に学習に取り組んでいる」と答えている。</p> <p>②「楽しい学校生活を送っている」と答えた生徒は79%であった。生徒に寄り添い個々の生徒とコミュニケーションを十分にとりながら，信頼関係を築くことができた。</p> <p>③「目標をもって学校生活を過ごしている」と答える生徒は68%であった。これまで通りの行事ができない中，応神学園として，保育所，幼稚園，小学校，その他各種団体と協力しながら，応神町の子どもたちとして育てて行くことができた。</p> | | <p>（評定）</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p> <p>（所見）</p> <p>全体に落ち着きのある，教育活動が展開できている。</p> <p>小規模校の利点を活かし，一人ひとりにきめ細かな支援を行い，学校生活に達成感を味合わせることができた。</p> <p>教職員から提案される新たな運営方法や活動を取り入れ，教育活動の活性化を図ることができた。</p> | <p>応神学園として保幼小中の保護者・地域・関係機関との連携を深めていくことで，充実した教育活動が行えるよう努力していくことが望ましい。</p> <p>今後，タブレットを活用した授業を展開していくにあたり，教員のスキルアップを図り，授業力の向上をお願いしたい。</p> <p>また，全生徒が家庭でタブレットが利用できるように，家庭でのインターネット環境の整備を期待する。</p> <p>タブレット利用による目への影響等も配慮していただきたい。</p> <p>ウイズコロナ時代に対応した行事の在り方を工夫し，負担のないような形で生徒たちが活動できる場を提供していきたい。</p> | <p>全ての生徒に豊かな心とたくましく生きる力を身につけさせることができるような取組を実践していく。</p> <p>少ない教職員による部活動の運営が大きな課題となっている。</p> <p>目標管理シートの活用や，日々の教職員との関わりを密にすることにより，教職員の知識，経験，改善策等を活かし，よりよい教育活動が行えるよう，組織の活性化と教員の資質向上を図る。</p> <p>働き方改革を進め，質の高い教育が展開されるよう，意識改革を行いながら，ワークライフバランスのとれた職場にしていく。</p> |
| | | <p>（組織レベル）</p> <p>①生活力の向上（あいさつ・清掃・歌声）</p> <p>②学力の向上（基礎・基本の定着，授業の充実）</p> <p>③人間力の向上（道徳教育・人権教育の推進，体験活動の充実）</p> | | <p>①管理職との面談や職員会議や各種委員会を通し，全ての教職員の共通理解を図る。</p> <p>②授業時間の確保，学校行事や出張の精選を行う。</p> <p>③校内研修を通して，教職員のスキルアップを図る。</p> <p>④PTA活動や，学校行事の中で保護者の意見等を聞いたり，地域や関係機関との連携を密にし，応神学園としての協働体制を強化する。</p> <p>⑤業務の効率化や教員の意識改革を進めることにより教員の負担軽減を図り，生き生きとした職場作りをしていく。</p> | | <p>①目標管理シートをもとにした面接や定期的な会の他，必要に応じて臨時の会合などを持った。</p> <p>②定期的な各教科の授業時数の確認や出張への対応として，時間割変更を行うことで時数の確保に努めた。</p> <p>③相互の授業参観を行ったり，職員室での意見交換を積極的に行うことで授業力向上に努めた。</p> <p>④学校評価の中間評価の活用やアンケートなどを通し，保護者や地域の方の意見を聞くことで，教育活動改善への方策を検討したり，関係機関との連絡調整に努め，円滑な教育活動の実践に努めた。</p> <p>⑤風通しの良い職場環境の中で，互いに声をかけ合い，年休等も無理なく消化できる体制をつくることができた。</p> | | <p>（所見）</p> <p>全体に落ち着きのある，教育活動が展開できている。</p> <p>小規模校の利点を活かし，一人ひとりにきめ細かな支援を行い，学校生活に達成感を味合わせることができた。</p> <p>教職員から提案される新たな運営方法や活動を取り入れ，教育活動の活性化を図ることができた。</p> | <p>ウイズコロナ時代に対応した行事の在り方を工夫し，負担のないような形で生徒たちが活動できる場を提供していきたい。</p> | <p>働き方改革を進め，質の高い教育が展開されるよう，意識改革を行いながら，ワークライフバランスのとれた職場にしていく。</p> |

「評定」の基準 A：十分達成できた B：おおむね達成できた C：達成できなかった